



エッジによる AI 画像解析を実現する次世代デバイス amnimo Al Edge Gateway

専用プロセッサにてAI処理を実現するGateway装置

- AI解析を実行する専用プロセッサを 搭載した拡張ボードを装着
 AI処理のための消費電力・発熱量を抑え、 多くの場所での使用を可能とすることを目指す
 ルネサス製マイクロプロセッサを採用
- AI Edge Gatewayは、ルネサスエレクトロニクス株式会社が開発した マイクロプロセッサであるRZ/V2Mを搭載

RZ/V2Mの特長

- 1GHzで動作するArm Cortex A53を2コア搭載
- ビジョン向けAIアクセラレーターである
 「DRP (Dynamically Reconfigurable Processor)- AI」を 搭載し1TOPS/Wクラスの低消費電力でAI演算を 実行可能

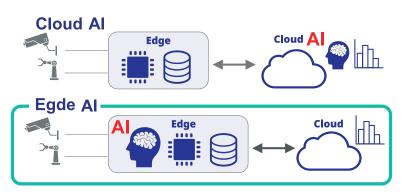


- 複数のAIモデルを高速に切り替えることが可能なフレキシブルなアーキテクチャ
- H.265/H.264のエンコード・デコードが可能。

エッジAIのコンセプトの実現に不可欠なAIエッジデバイス

エッジAIのメリットは

- 低遅延なレスポンス
- 通信コストが削減できる
- 通信が利用できない場合でも AI処理ができる
- 画像をローカルで取り扱うことから、
 セキュリティやプライバシーの問題を
 回避しやすい

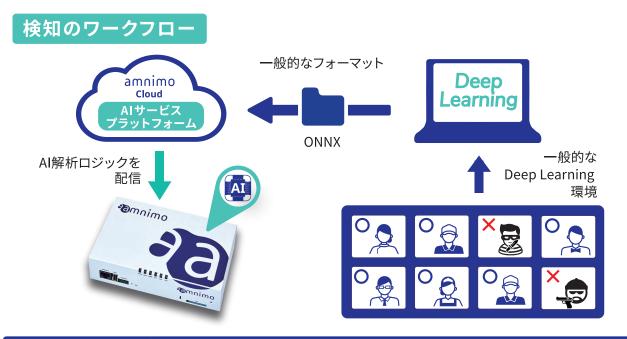


amnimo Inc.



一般的なAIフレームワークであるONNXに対応

- AI解析ロジックの取り込みは一般的なAIフレームワークであるONNXに対応しているため、 外部のDeep-Learning環境で作成したAI解析ロジックが実行可能
- 既にFieldに設置された機器に対してAI処理ロジックを配信・更新するクラウドサービスを 提供予定



amnimoが構想するAIサービスの提供モデル

● AIエッジデバイスとAI解析ロジックを配信する仕組みを提供し、各種パートナーを交えた エコシステムを形成して、ユーザ企業に利用していただくソリューションの提供を目指す



© 2021 amnimo Inc. 本文中で使用されている商品名等は、アムニモ株式会社、各社および各団体の登録商標または商標です。